

自然豊かな北竜湖



秋の北竜湖

飯山市瑞穂にある北竜湖は、飯山の四季を体で感じることができ、春

は桜、夏はレジャー、秋は紅葉、冬はすごいことに、湖が結氷しない。降り

積もった雪がシャベット状になり、その上に、さらに雪が積もる。他にも冬は、北竜温泉ファミリースキー場でスキーなどが楽しめる。
北竜湖の面積は20ヘクタール。周囲は2.2キロもある。北竜湖を一周するには少々時間はかかる。実際に行ってみると、とても大きくて広く、きれいな湖だった。さらに、いろんな鳥類がいておどろいた。

心安らぐ文化北竜館

飯山市瑞穂の文化北竜館には、テラス・足湯・露天風呂・大展望風呂等がある。テラスにはイス、テーブルがあり北信五岳(飯綱山・戸隠山・

黒姫山・斑尾山・妙高山)の山々が見渡せ、景色も美しい場所だ。足湯は丸太イスが12個ほどあり、気持ちいい。足湯は、春から秋



足湯

にかけてつかることがができる。露天風呂は広く景色がよい。大展望風呂も露天風呂と同じで気持ちいい。日帰り入浴料は大人800円、子供400円。最大収容人数は、230人だ。

歴史あふれる小菅神社

小菅神社には、長い歴史がある。奥社は、盛衰を繰り返した神社だ。そんな奥社は、国の重要文化財に指定されている。標高840メートルの斜面にある奥社の屋根



などが大雪の影響でこわれたが、一昨年冬に復元された。神社周辺は、北竜湖と同じように自然の四季を感じることもできる。自然豊かなで、気持ちがいい。

地をはって移った竜の伝説



出典…国土画像情報(カラー空中写真) 国土交通省 画像提供 Wikipedia

北竜湖の形は、ハート型だ。昔は早乙女の池とよばれていた。農業用水として、小菅集

落の水田を潤してきた。小菅には昔、南竜池といわれる池があり、龍が住んでいたという伝説があった。その池が土砂で埋まってしまう、浅くなってきたため、村の人が龍にお願いをし、近くの蓮池に移った。蓮池

も年々土砂で埋まって浅くなった。龍に頼み込んで早乙女の池に移った。明治になつてこの伝説が伝わり、「北竜湖」という名前に変わったといわれている。次の池へと移るたびに体をひきずつたため、滝ができた。早乙女の池と小菅集落をつなぐ用水路ができた。この龍は空を飛んだのではなく、地上をはって移動したそうだ。